

## 10 耐震改修工事をした住宅の状況

平成21年以降に耐震改修工事をした住宅を各建築の時期毎にわけると、平成3年～平成12年の施工率が0.4%と一番低くなっている。

施工率を全国と比較してみると、平成18年～平成22年を除き全国より低くなっている。

<表10>

表10 建設の時期別にみた平成21年以降における耐震改修工事をした住宅数(持ち家)

単位:戸、%

建築の時期	長崎県			全国		
	総数(a)	耐震改修工事をした住宅数	施工率	総数(a)	耐震改修工事をした住宅数	施工率
総数	366,300	4,700	1.3	32,165,800	691,000	2.1
昭和45年以前	74,000	1,000	1.4	4,486,600	129,900	2.9
昭和46年～55年	69,600	700	1.0	5,835,400	162,700	2.8
昭和56年～平成2年	69,800	600	0.9	6,108,500	113,800	1.9
平成3年～12年	70,000	300	0.4	6,880,000	74,500	1.1
平成13年～17年	29,500	200	0.7	3,458,600	25,900	0.7
平成18年～22年	26,100	1,000	3.8	3,194,600	76,000	2.4
平成23年～25年9月	11,800	800	6.8	1,335,200	93,700	7.0

数値は居住世帯のある住宅のうち持ち家であるもの

「総数」は、建築の時期「不詳」を含む。

「設置率」は、各建築時期毎の「総数(a)」に占める割合。